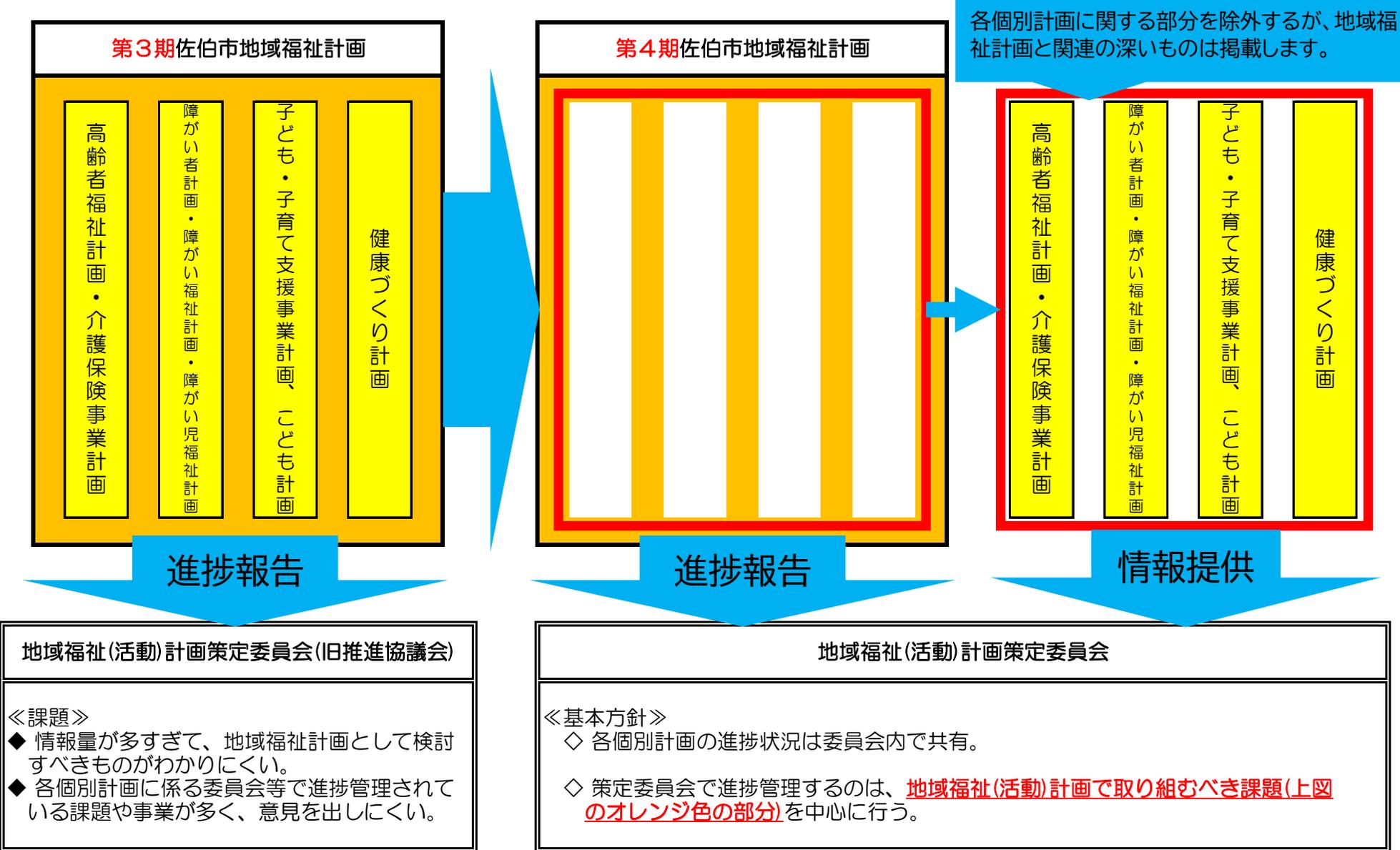
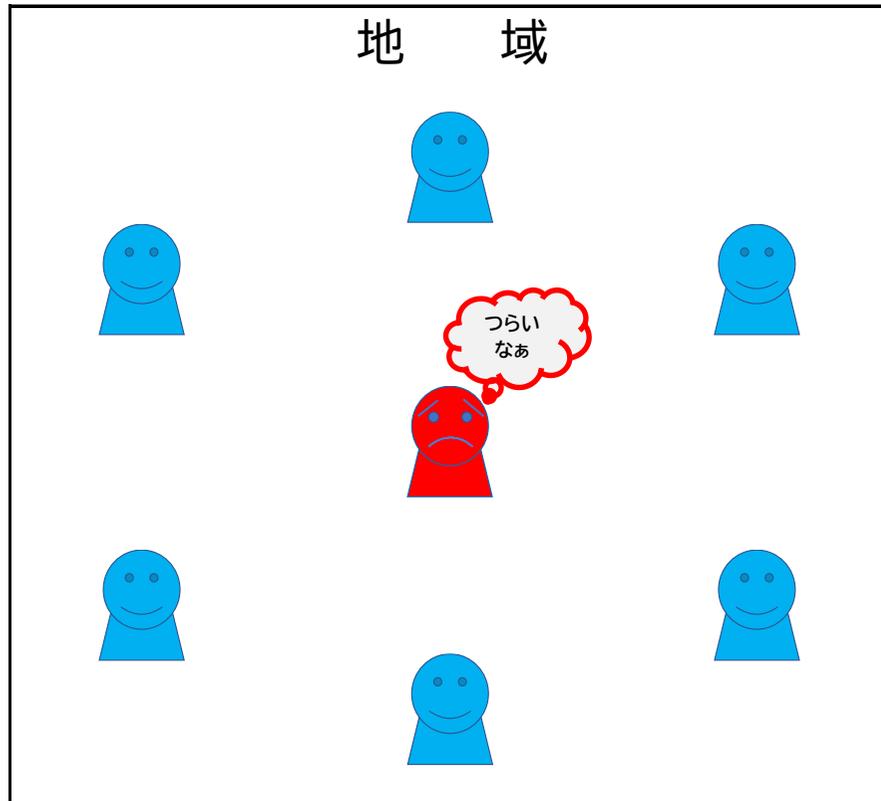


第4期佐伯市地域福祉計画の考え方



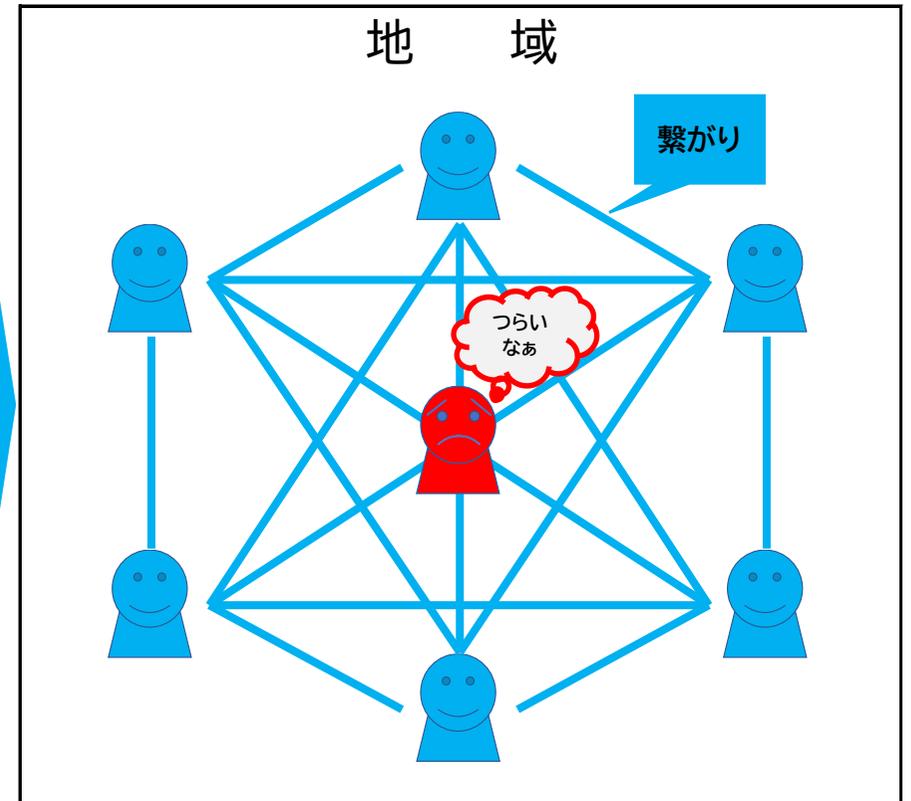
第4期佐伯市地域福祉計画の考え方

[基本方針1] 「孤独・孤立ゼロ」の地域づくりの推進 〈地域づくり支援〉



《課題》

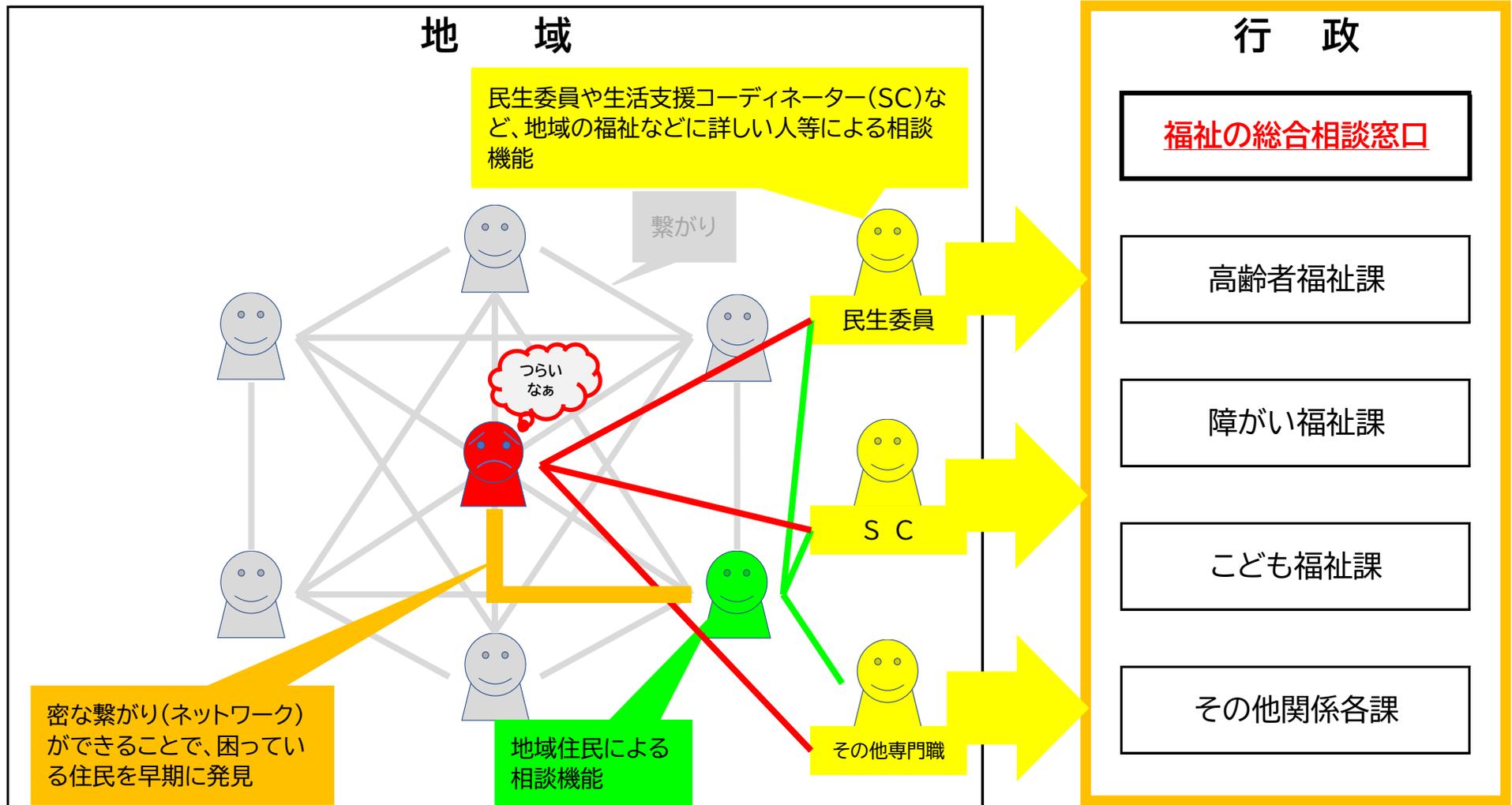
◆ 人口減少により、人と人の距離が離れることで、困っている(課題を抱えている)住民を把握しきれずに、必要な支援につながらない。



《基本方針》

◇ 顔の見える関係づくりを通して、ゆるやかな情報共有ができていく地域になることで、困っている(課題を抱えている)住民を、漏れなく、早期に発見できる地域づくりを目指します。

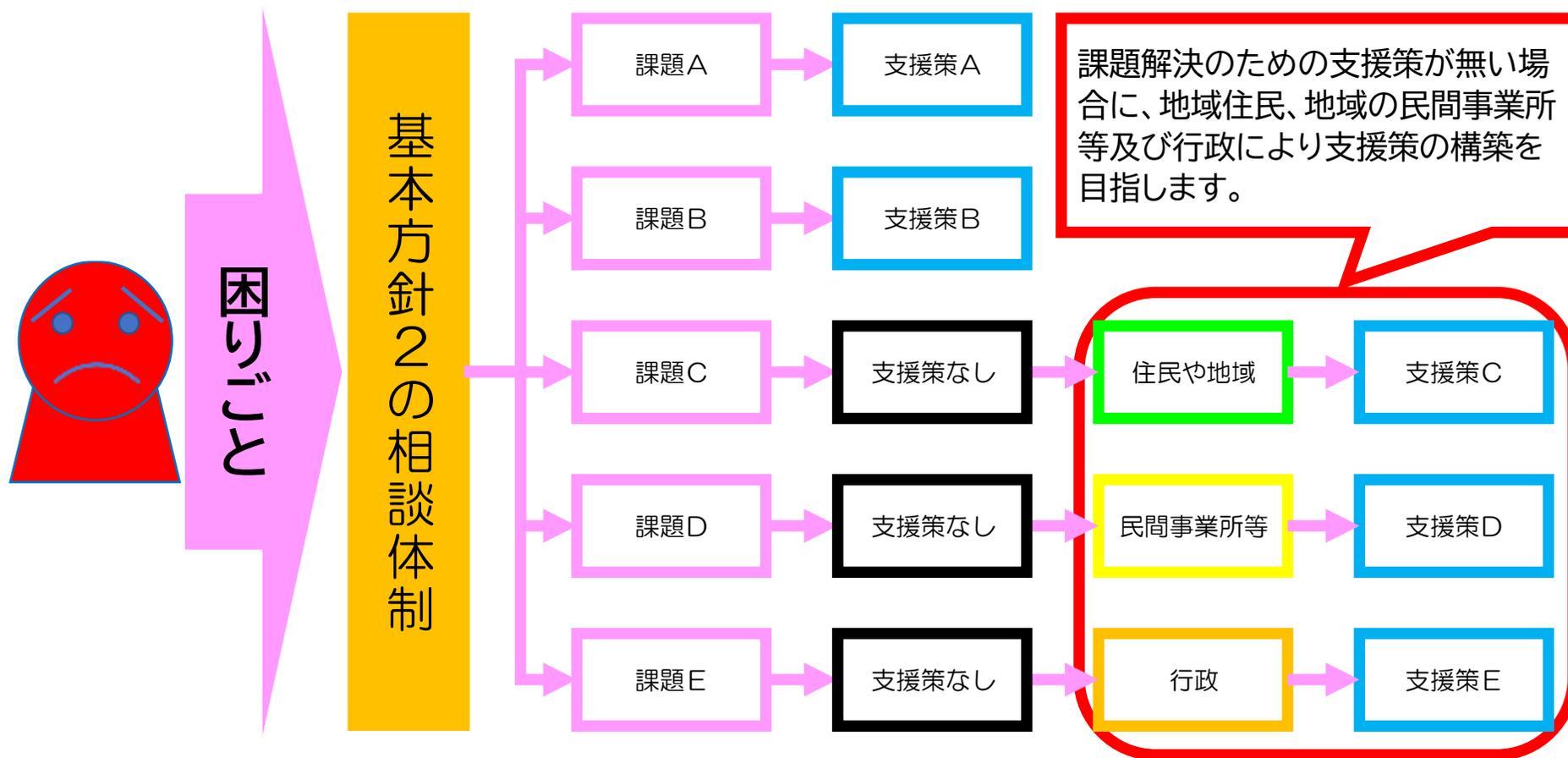
[基本方針2] 「佐伯ならではの」の包括的な相談支援の推進 <相談支援>



≪基本方針≫

◇ ゆるやかな情報共有(ネットワーク)が出来ている地域により、困っている住民を発見した場合、「地域住民による相談機能」、「地域内の福祉に詳しい住民や事業所などによる相談機能」、「行政による相談機能」といった3層による相談機能を整備することで相談しやすい体制を整備し、地域で解決できる課題は解決し、地域では解決が困難な課題を行政に繋げるといった、効率的な相談支援体制の構築を目指します。

〔基本方針3〕 誰一人取り残さない「全員参加支援」の推進 〈参加支援〉



〈基本方針〉

◇ 地域のネットワークにより課題を抱えた住民が早期に発見され、住民の相談機能、地域の専門職等による相談機能、行政の相談窓口により、1つの大きな「困りごと」から複数の解決すべき課題(A~E)に分けられ、それらの課題を解決しうる支援策へと繋がりますが、繋ぎ先の無い課題(C~E)については、地域住民、地域の民間事業所等及び行政により支援策の構築を行う仕組みづくりを行います。